

石川県 七尾市 和倉温泉地区

- そ
の
他
- 防
災
・
減
災
- 子
育
て
支
援
- 健
康
・
医
療
- 経
済
活
性
化
- 交
通
利
便
性
向
上
- コ
ン
パ
ク
ト
シ
ティ
- 観
光
・
交
流

■ 基本情報

計画期間：平成 20 年度～平成 24 年度
 面積：60.5ha
 交付対象事業費：1,898 百万円
 市町村人口（地区人口）：54,700 人
 （1,906 人）

■ 地区概要

来訪者が「温泉」と「食」だけの癒しのみならず、地域固有の自然や地域住民とふれあい、まち歩きを楽しむことができる温泉地としての環境づくりを行う。

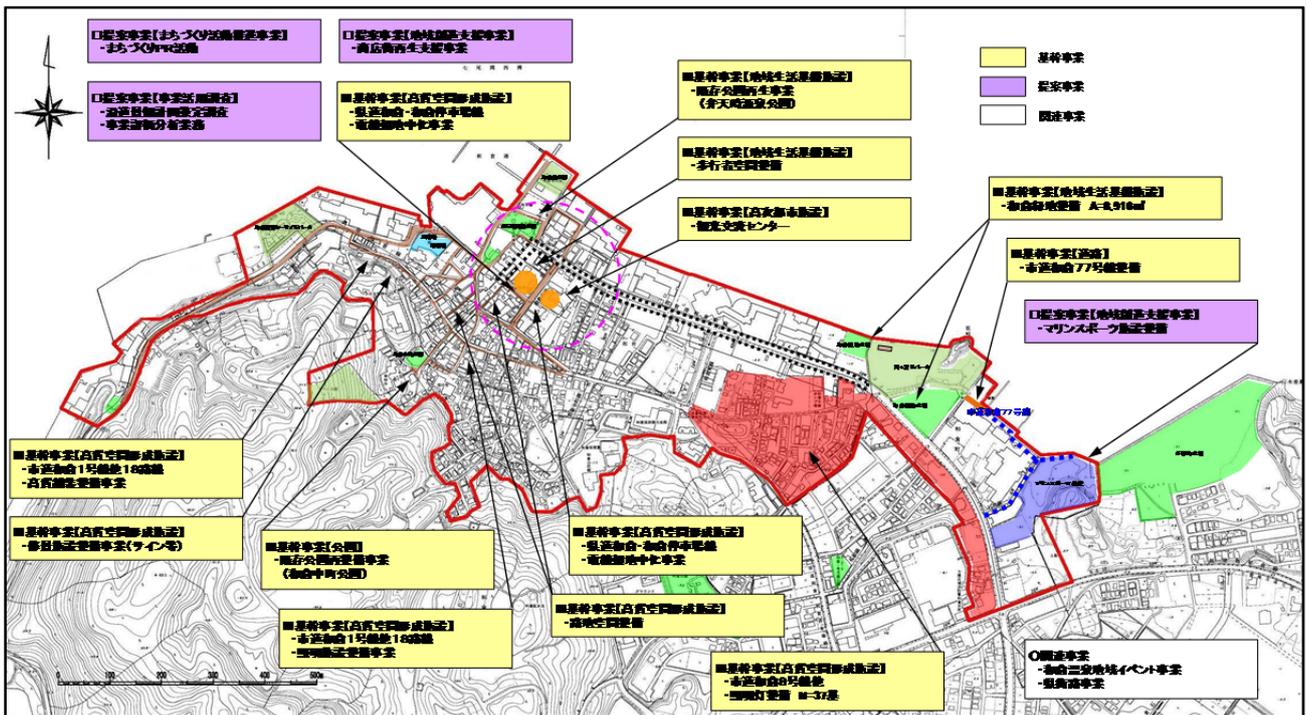
■ 目標

和倉温泉まちなか賑わい再生と住民がいきいきと暮らすまちづくり

- ・安全で快適なまちなか道路空間づくりを推進し、住む人・訪れる人が楽しく行き交う賑わいのあう温泉街の再生に取り組む
- ・郷土の歴史、文化溢れる地域独自のまち並みを形成、海岸沿いの立地を活かすとともに、温泉街の情緒を創出し、能登観光の拠点にふさわしい魅力あるまちの形成を図る
- ・地域が一体となった「おもてなしのまち」づくり

■ 主な事業

- 基幹事業：【地域生活基盤施設】源泉広場、緑地広場整備（275 百万円）
 【高質空間形成施設】石畳舗装、カラー舗装、電線地中化、照明等整備（637 百万円）
 【高次都市施設】観光交流センター整備（499 百万円）
 提案事業：【地域創造支援事業】商店街活性化支援、マリンスポーツ施設整備（453 百万円）



■まちづくりの実施効果

定量的な効果

●和倉温泉の宿泊者数の増加

温泉街としての情緒を創出し、安全で快適な空間を形成することにより、まちの魅力の増加につながり、また、平成27年3月開業した北陸新幹線金沢開業とも相まって、事業完了後、宿泊客数が増加している。

●総湯入り込み客数の増加

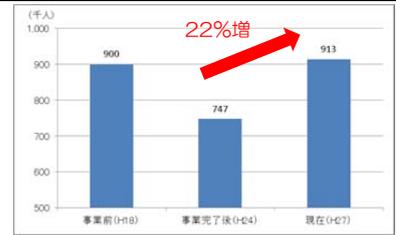
総湯の改築や併設する観光交流センターの整備により、入り込み客数が事業完了後も継続して増加しており、和倉温泉の新たな拠点として定着しつつある。



【効果】

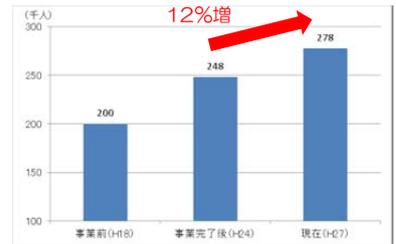
●外国人入り込み客数の増加

宿泊者数の増加に伴い、外国人入込者数も事業完了後、増加している。

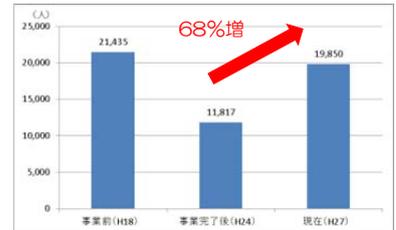


和倉温泉の宿泊者数

(※数値は、和倉温泉旅館協同組合加盟施設のみ)



総湯入り込み客数



外国人入り込み客数

定性的な効果

・本事業の実施にあたり、まちづくり活動の機運が高まり、温泉街にふさわしい良好な景観を形成していくことを目的とし、景観協定を締結、景観に配慮したまちづくりを実施している。

・花と緑のおもてなし、清掃など事業完了後も継続的に地元自治体が自ら活動を実施し、温泉地としてのおもてなし空間の充実を図っている。



【効果】

・緑地公園や海に近いロケーションを活かした環境が整備され、子ども連れの家族や若者がまちなかを歩く姿を見かけるようになるなど、まちの雰囲気に変化が見られるようになった。



景観に配慮し建てられた店舗



地元女性部会による花と緑のおもてなし

■効果を継続させるための今後の取組み等

・総湯・観光交流センターを活用した付加サービスやイベントの開催によるさらなる来訪者拡大を目指すほか、まち歩きを促す新たな仕掛けづくりによって、まち歩き者数の増加、滞在時間の延長を図る。また、空き店舗の活用に対する補助制度を活用しながら、沿道の店舗出店を促す。

■地区 PR 欄

本事業の実施にあたり、「和倉温泉街にぎわい再生協議会」を組織し、「企画部会」「にぎわい創出部会」「女性部会」を設置、それぞれが活動を展開することにより、住民がまちづくりに積極的に参画しています。「企画部会」では舗装・照明・案内サインなどのデザイン検討、「にぎわい創出部会」ではイベントの企画・運営、「女性部会」では花と緑のおもてなしや清掃活動など、取り組み内容を検討、実施してきました。

また、和倉温泉らしい格式と温泉情緒ある雰囲気を出出するための取組みに、約 22ha という広範囲の住民から賛同を得て、景観法 81 条に基づく景観協定を締結し、良好な景観形成に取り組んでいる。

■観光交流センターを中心とした取り組み



観光交流センター（総湯館）



観光交流センター前の足湯（イベント時）

観光交流センターは、「地域情報の発信とまち歩きのリ遊拠点」、「地域住民と観光客のふれあいの場」などの機能を持ち、多くの来訪者に利用されている。前面には、足湯施設も設けられ、温泉や湯けむりを感じることができます。



フリーマーケット



よさこい踊り

観光交流センター前の広場と前面道路が一体的なイベント会場として利活用できるよう整備されており、フリーマーケットやよさこい踊りなどが行われています。

■地元協議会でデザイン検討された道路



整備前



整備後

歩道を広げ、無電柱化や石張り舗装を行い、安全で快適な歩行空間を整備。